

9月会

染め織り芭蕉布と大島紬

アンコール上映

芭蕉布を織る女たち

- 連帯の手わざ -

ポーラ伝統文化振興財団製作/1981年/30分/監督: 村山英治

南国の着物として古くから人々に用いられてきた芭蕉布。しかし現在では沖縄県の大宜味村喜如嘉で主に製作されるほかは、ほとんど見られなくなってしまっている。太平洋戦争を境に亡びてしまった芭蕉布の復興に、生涯をささげてきた『喜如嘉の芭蕉布工房』の平良敏子さんを中心に、糸芭蕉の栽培から染色、織りと一貫して共同作業で行われる製作工程を追い、製作にかかわる女性たちの思いを映し出す。



沖縄初上映

奄美の泥染

民族文化映像研究所製作/1989年/30分



伝統的な衣食住には、地域の風土や歴史が色濃く反映し、さらには地域性を超えた人間の資質の奥深さがにじみ出ている。この映画は、奄美の泥染(大島紬の別称)の製作工程を記録するとともに、その奥深いものを少しでも明らかにしようとしたものである。大島紬は、基本的には絹の平織りの織物だが、それが泥染とよばれる技法で染められ、緻密なカスリ模様に仕上げられるところに特色がある。タンニンを含んだテーチギ(シャリンバイ)の煮汁と鉄分を含んだ、田の泥による染めの技法。奄美の泥染の名が、大島紬の別称でもある所以である。

上映作品、上映日は都合により変更することがあります。詳細は、海燕社のウェブサイト(<http://www.kaiensha.jp>)やSNSにてご確認ください。
新型コロナウイルス対策へのご協力、宜しくお願いいたします。

古書店 うみつばめ

URL:<http://kaiensha.stores.jp> @KoshoUmitubame

海燕社のウェブ古書店うみつばめ。年中無休で開店しています。こだわりは、画家 石垣克子デザイン、オリジナルブックカバー(単行本・新書・文庫本)とオリジナルしおり(3種類)です。いずれかをご購入の本におつけします。よい本と出会えますように。



ウェブ古書店